

**学力に大きな課題がある児童（正答率40%未満など）への支援に向けて（算数）**

自校の算数における学力に大きな課題がある児童

自校の算数における学力に大きな課題がある児童（正答率40%未満など）の数	13人
該当する児童を確認しながら手立てを検討しましょう。	

**算数における正答率と無解答率**

問題番号	概要	正答率 (%)			無解答率 (%)		
		広島県(公立)	自校	自校の40%未満の生徒	広島県(公立)	自校	自校の40%未満の生徒
1 (1)	長方形を直線で切ってできた図形の中から、台形を選ぶ	93.3	92.0	76.9	0.0	0.0	0.0
1 (2)	二つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくれる形を選ぶ	61.7	60.0	46.2	0.5	1.3	7.7
1 (3)	減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く	43.6	61.3	0.0	4.9	10.7	23.1
2 (1)	1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ	95.6	96.0	100.0	0.1	0.0	0.0
2 (2)	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取って書く	79.5	78.7	15.4	0.6	2.7	15.4
2 (3)	二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだだけを書く	53.8	61.3	15.4	1.4	4.0	15.4
2 (4)	洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、 $6 + 0.5 \times 2$ を計算する	61.3	58.7	7.7	0.7	1.3	15.4
3 (1)	$350 - 97$ について、引く数の97を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く	84.1	74.7	7.7	0.7	0.0	0.0
3 (2)	減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようなものかを書く	32.2	32.0	0.0	7.7	18.7	38.5
3 (3)	被除数と除数にかける数や割る数を選び、 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する	77.3	65.3	7.7	1.6	2.7	7.7
3 (4)	$1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ	48.1	49.3	38.5	1.8	1.3	0.0
4 (1)	だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るために、調べる必要のある事柄を選ぶ	83.6	86.7	46.2	1.5	1.3	7.7
4 (2)	何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを求める式を書く	70.3	68.0	7.7	3.5	8.0	30.8
4 (3)	残り7ボール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24分間以内にレジに着くことができるかどうかを判断する	65.0	72.0	23.1	3.1	4.0	7.7



まずは、この問題を全員で解いてみて、どのような力が求められているか確認しましょう。

**STEP1**

学力に大きな課題がある児童（正答率40%未満など）の、正答率が低い問題や、無解答率の高い問題を取り上げ、解いてみましょう。



教科の内容の系統や解答類型を基に分析しましょう。

**STEP2**

自校の学力に大きな課題がある児童（正答率40%未満など）は、どのような学習のどの段階でつまづいているのでしょうか。

**ポイント**

該当する児童一人一人について、教科学力調査や質問紙調査の結果に加え、日頃の学校生活の様子、家庭との連携で把握したことなどを総合的に分析し、学習のつまづきの要因や背景を捉えることが大切です。


**議論しよう！**
**STEP3**

学力に大きな課題がある児童（正答率40%未満など）に対して、つまづきの解消に向け、どのような手立て（指導の工夫・支援）を講じますか。